



# 進まなん

学校だより

新発田市立七葉中学校

新発田市上館乙84番2

電話 0254-22-3524

令和2年11月5日 第19号

10月に、1年生と2年生は、地域に出かけての校外での学習がありました。3年生は、進路選択の機会として、高校での説明会に出かけました。初めての人と会う機会が、学年が進むにつれて増えてきます。人として頼られることについてみんなで考えました。

## 10月全校朝会 校長講話

「内のありのままが現れる、だから、心を整える」 校長 野澤 一吉

みなさんは、これまで、多くの地域の方と交流してきました。地域の方々は、みなさんと笑顔で、真剣に接してくれました。その理由を、これから見せる場面をもとに考えてください。場面とは、ある会社の事実に基づいた面接試験のケースです。

### 【遅刻をする人】：大切な場面であることを理解していない人

面接官「次の人、どうぞお入りください。」「次の人が来ないなあ。」

受験者「(走ってきて部屋に入る) まずい、遅刻してしまった。」

面接官「どうしたのですか。」

受験者「寝坊して遅れました。すみませんでした。」

面接官「なぜ、私どもの会社を希望したのですか。」

受験者「(焦る) えーと、とにかく、貴社はすごくて、つまり、えーと、たくさんの利益をあげていて、これからの社会には必要である会社だと思ったからです。」

### 【批判をする人】：相手のことを考えず、自分の考えを通す人

面接官「次の人どうぞ」「なぜ、私どもの会社を希望したのですか。」

受験者「この会社は、非常に評判が悪い。」「社会のためになっていない。」

「利益もあげていない。」「社員がダメだと思います。」「変えたいです。」

面接官「わかりました。面接を終了します。」

受験者「もう、終わりなんですか。」

### 【無気力の人】：自分の意志があいまいで目標が定まっていない人

面接官「次の人どうぞ」

「なぜ、私どもの会社を希望したのですか。」

受験者「(下を向いたまま、無言)」

面接官「希望した理由は何ですか。」

受験者「何でしょうか、分からないんです。」

面接官「なぜ、今日、面接に来たのですか。」

受験者「行く気持ちが分からずに来ました。」

「どこか受検しなければと思ったんです。」



この3名は、採用する立場としては問題がある人です。

遅刻をしてきた人は、面接がどういう意味があるのかを理解が浅く、この会社に入社したいというはっきりとした意志があるのかが分かっていない人です。

批判する人は、自分の考えが全て正しいと思い相手を説き伏せようとしていて、相手の努力や考えをほとんど理解しようとしません。

無気力の方は、自分は何がしたいのか分からず、目標が定まっていない人です。

人は、心の状態が、表情、話し方、行動などに現れます。相手に分からないようにしても、誰かは気付くはずで。

人は、日々悩み、失敗をします。だから、大切なことは、自分をいろいろな視点から冷静に振り返ることです。時には信頼の置ける人と相談して、本当の自分を取り戻すことです。そして、私たちは、人の弱さに気付いたら声をかけなければなりません。

地域の方は、みなさんに対して、笑顔で、表情豊かに接してくれました。心の中は、みなさんのためになりたいというはっきりとした思いがあるからです。